



花-Hana-

花・舞・音の空間パフォーマンス

2006年11月26日(日)

14:30開場/15:00開演 1回公演

京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内)

京都造形芸術大学 京都芸術劇場 毛利臣男芸術監督プログラム

同時開催「花-Hana- 栗崎昇の世界」展 11月13日(月)~11月26日(日) 10時~18時

京都造形芸術大学 人間館1階ラウンジ 入場無料

戯曲・構成・演出・美術

毛利臣男

出演

栗崎昇

金大偉

高木克美

恵炎

恵

主催

京都造形芸術大学

協力

有限会社 西の木

京都 花政

素材協力

柴田織物

色即是空

この世には忘れぬ春のおもかげよ 朧月夜の花の光に

式子内親王

花師 栗崎昇はます花の女神となつて春秋座の花道に登場するといふ。和太鼓が風のように、地底からのうなりのように、鳴り響くなか、女神は毛利臣男のあの艶麗な衣裳をまとい、このように身こなしで舞台へと進むのだろうか。女神はそのとき唇に、心のなかに平安末のこの内親王の痛切な春のおもかけを唄ふ歌をくちずさんでいるにちがいない。

女神はたちまち黒々とした花師と転じて、舞台いっぱい「花の光」をくりひろげ、かがよわせるのだから、それは花の女神への花のいのちへの最大の讃歌となるのだから。だが、私はまたそれが、藤原定家に恋されたままだに成仏できないでいるという花と月の歌人式子内親王への、鎮魂の捧げ物ともなて欲しいと願う。「色即是空、空即是色」を唄えて花師のパフォーマンスが終るころに、また遠くから彼女の歌が聞こえてくる。

花は散りてその色となく、ながむればむなしき空に 春雨ぞふる

式子内親王

芳賀 徹
京都造形芸術大学学長



花女神・花師

栗崎昇 クリサキ ノボル(花師)

1957年上京し、独学で花の修行を始める。

1974年、エリザベス女王夫妻来日の際、英国大使館にて女王陛下主催の晩餐舞踏会の飾花を担当、後に女王陛下より感謝状を賜る。1987年東京・青山スパイラルホールでの毛利臣男演出による「花」は花を生ける姿、過程を見せるダイナミックかつ繊細な飾花パフォーマンスとして好評を博す。数々の飾花パフォーマンスや「ミセス」「家庭画報」等の飾花作品、辻村 ジュサプロ-氏の芝居「海神別荘」の舞台美術、勅使河原宏氏の「利休」出演など、様々な活躍を通して花の可能性を追求する現代の花師である。著書に「花たち」「飾花」「酔花」「花」(全て文化出版局)、「栗崎昇の花の教科書」(マガジハウス)など。

音楽

金大偉 キンタイ(アーティスト)

中国生まれ。来日後、自然との共鳴感覚や精神内外部の調和を重視しつつ、独自の技法と多彩なイマジネーションによって音楽、映像、美術などの世界を統合的に表現。音楽CD『Harmony』(96)、『Waterland』(97)、『新・中国紀行』(00)、『龍・DRAGON』(00)、『東巴TOMPA』(03)など8枚をリリース。最新作は「道tao」シリーズ3枚を同時発売。映像監督作品は、文学と融合させた映像詩・石牟礼道子の『しゅうりゅうえんえん』(04)『海霊の宮』(06)など多数。



和太鼓作曲・演奏

高木克美 タカギヨシミ(京都造形芸術大学教授、和太鼓研究センター所長)

日本体育大学卒業。京都陸上競技協会に所属し、世界初女性スターターとして世界陸上競技選手権に出場。現在、京都造形芸術大学教授。同大学和太鼓研究センター所長。京都市青少年問題協議委員。1994年京都造形芸術大学を拠点とした和太鼓チームを結成。1999年より恵炎としてコンサートを始め、年間数々のイベントに出演。また、ピアニストの姉高木知寿子と世界初のピアノと和太鼓によるDuo!サイトを開催し、和太鼓の芸術的可能性を追求している。平成3年京都府あげほの賞受賞。



1987年東京・青山スパイラルホールで開催された毛利臣男演出 栗崎昇出演による伝説的な生け花パフォーマンス「花 栗崎昇」が京都発の新作ビジュアルパフォーマンス「花+Hana-」として本邦初の公演となります。

独自の花の世界を探索し続ける花師 栗崎昇、映像・音楽と活躍するアーティスト金大偉、そして京都造形芸術大学教授、和太鼓研究センター所長 高木克美、和太鼓研究センター恵炎と恵の迫力ある和太鼓演奏、4者のコラボレートにより新たに毛利臣男演出「花+Hana-」と題して春秋座に美しく開花します。

京都造形芸術大学 劇場企画運営室

戯曲・構成・演出・美術
出演

毛利臣男 (京都芸術劇場 芸術監督)
栗崎昇 (花師)
金大偉 (アーティスト)
高木克美 (京都造形芸術大学教授、和太鼓研究センター所長)
恵炎 (和太鼓)
恵 (和太鼓・学生)

装置・マスク

大野木啓人 (京都造形芸術大学 芸術学部学部長)

音楽

金大偉 (アーティスト)

和太鼓作曲

高木克美 (京都造形芸術大学教授、和太鼓研究センター所長)

照明

佐藤壽晃

音響

神家洋志郎

衣裳リアリゼーション

中山和子 (京都造形芸術大学 教授)

舞台監督

岩田廣明 (京都造形芸術大学)

プロデュース

倉岡未来人 (京都造形芸術大学)

● 同時開催

「花+Hana- 栗崎昇の世界」展

11月13日(月)~11月26日(日) 10時~18時 入場無料

京都造形芸術大学 人間館1階ラウンジ

● チケット

全席指定

前売り

一般 ¥2,000

学生&コース(25歳以下) ¥1,000

当日

一般 ¥2,300

学生&コース(25歳以下) ¥1,100

学生&コースの方は学生証もしくは年齢のわかるものをご提示ください

未就学児入場不可

● チケット取扱

京都芸術劇場チケットセンター

TEL 075-791-8240(平日10:00~17:00)

e-mail ticket@kuad.kyoto-art.ac.jp

● 電子チケットぴあ <http://t.pia.co.jp>

TEL 0570-02-9966(オペレーター対応)・TEL 0570-02-9999(Pコード 372-031)

● お問い合わせ

京都造形芸術大学 劇場企画運営室

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

TEL 075-791-9437 Fax 075-791-9438 URL <http://www.k-pac.org/>



和太鼓演奏

恵炎 シェン(和太鼓)・恵 シン(和太鼓・学生)

メンバー: 高木克美・野田悟(同大学和太鼓研究センター主任)/

吉田淳一/鈴鹿摩耶/山下泰英/白川舞

年間数々のイベントに出演。2002年チェコのプラハ、2005年イタリアのフィレンツェ及びピストイアにおける恵との海外合同演奏では絶賛を博した。また、幼児から社会人、自閉症等の脳機能障害を持つ方々対象の和太鼓指導に携わる。「太鼓のエネルギーと打ち手の魂がひとつになる演奏」を念頭に日々のトレーニングに励み、自分自身への挑戦を続けている。

「恵」は、恵炎の指導による瓜生山学園(京都造形芸術大学・京都芸術デザイン専門学校・京都文化日本語学校)の学生で構成されているチーム。本学内外の学校行事、記念式典、各種大会での演奏、法人・個人等の祝典での演奏活動を中心に京都市を始め、他府県のイベント等で活躍中である。



■ 会場アクセス:

◇JR「京都」駅、京阪「三條」駅、阪急「河原町」駅から
→京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」

下車(京都駅から約50分、三條駅・河原町駅から30分)

◇市営地下鉄「丸太町」「北大路」駅から

→京都市バス204循環に乗り、「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

◇京阪電鉄「出町柳」駅から

→叡山電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分。

→タクシーで10分

◇駐車場はございません。

